

1月定例市長記者会見次第

日時：平成30年1月10日(水) 午前9時30分～／場所：庁議室

1 開会

2 市長話題提供

- ① 平成30年掛川市の展望（主要施策）について 【市長政策室】資料1-1
- ② 中華民国（台湾）アーチェリー協会との
東京オリンピック事前キャンプ覚書締結について 【スポーツ振興課】資料1-2

3 報告事項

- ① 運転免許証自主返納者アンケートの実施報告について 【危機管理課】資料2-1

4 主な行事について

- ① 「松ヶ岡物語」第6回講座（最終回） 【社会教育課】
～掛川藩校教授、松崎慊堂の活躍～
講師：静岡産業大学 中山正清氏
と き：1月13日（土）10:00～12:00
ところ：松ヶ岡
- ② 教養を生かしたグローバル社会におけるひとづくり、まちづくり講演会 【市長政策室】
講師：日本文学研究者・国文学研究資料館長
ロバート キャンベル氏
と き：1月13日（土）14:00～
ところ：掛川市生涯学習センター
- ③ ラグビーワールドカップ機運醸成事業 【スポーツ振興課】資料3-1
「スクラム先生プロジェクト」
と き：1月17日（水）10:30（3時間目から）～
ところ：西郷小学校
- ④ ミニ四駆グランプリ2018 NEW YEAR 掛川大会開催 【観光交流課】資料3-2
と き：1月21日（日）9:00～16:30
ところ：東遠カルチャーパーク「さんりーな」
- ⑤ 第64回文化財防火デー掛川城御殿消防訓練 【文化振興課】
と き：1月26日（金）9:00～10:00
ところ：掛川城御殿・天守閣
- ⑥ 公民館まつり 【社会教育課】
と き：1月27日（土）12:00～15:00
1月28日（日）9:00～15:00
ところ：千浜農村環境改善センター

⑦ 第5回掛川市城下町駅伝競走大会 【スポーツ振興課】資料3-3
と き：1月28日（日）9:00開会式
ところ：三の丸広場（開会式・閉会式）、緑橋（スタート・ゴール）

⑧ ふくしあスクール 【地域医療推進課】
「睡眠から考える健康」講師：常葉大学健康科学部 青田安史氏
「やってみよう！口腔ケア」：講師 牧野歯科医院大東診療所医学博士 牧野尚子氏
と き：1月28日（日）9:30～11:30
ところ：徳育保健センター

⑨ 「睡眠から健康を考える市民講演会」 【地域医療推進課】資料3-4
(1) 「成人の睡眠時無呼吸症候群」
講師：若井 正一 医師
(副院長 兼 神経内科診療部長 兼 睡眠医療センター長)
(2) 「小児の睡眠時無呼吸症候群」
講師：中山 明峰 医師
(名古屋市立大学病院 睡眠医療センター長)
と き：2月3日（土）14:00～16:00
ところ：中東遠総合医療センター3階大会議室

⑩ 遠州横須賀凧揚げまつり 【観光交流課】資料3-5
と き：2月4日（日）10:00～15:00
ところ：遠州夢咲農業協同組合ライスセンター周辺

5 議会日程
全員協議会 1月19日（金）9:00～

6 質疑応答（進行：幹事社 SBS・中日新聞）

7 閉 会
次回定例市長記者会見 2月14日（水）午後0時30分～ 庁議室

平成30年 掛川市 展望

ページ

1 平成30年掛川市展望（広報かけがわ1月号） 1～22 総合計画4つの柱

(1) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

①待機児童の解消

②子育て世帯への支援

③大東大須賀区域認定こども園化の推進 3

④（仮称）発達支援相談支援センターの開設 4～5

(2) 掛川への新しいひとの動きをつくる

①市民総ぐるみでシティプロモーションを推進

②歴史まちづくりを推進

③スポーツによる交流拡大

④松ヶ岡プロジェクト 6

(3) 掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする

①積極的な企業誘致活動の実施

②創業や中小企業を支援

③競争力あるオリーブ産地創り事業 7～8

④地方都市間の交流促進

(4) 明日の掛川をつくり豊かで潤いのある安心な暮らしを守る

①海岸防災林強化学業の着実な推進

②高齢者の生活支援や認知症対策の推進

③「お達者度」県下一を目指す

④掛川流協働によるまちづくりの深化

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

待機児童の解消を図ります

「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、施設整備およびソフト事業の充実により待機児童の解消を図ります。また、企業との協働により、企業主導型保育事業の活用を推進します。

子育て世帯への支援を検討します

子どもの貧困対策について、支援計画を策定し対策に取り組み、子育て世帯への経済的支援について検討します。

認定こども園の整備を進めます

大東・大須賀区域の認定こども園整備は、第一弾となる大坂、睦浜両幼稚園と大坂保育園を再編する「(仮称)大坂認定こども園」を、現在の大坂幼稚園と大坂保育園の敷地に新園舎を建設し、平成31年4月の開園に向けて、工事に着手していきます。

発達支援の窓口を開設します

(仮称)掛川市発達相談支援センターを希望の丘地区内に開設し、発達に関するさまざまな悩みなどに寄り添い、情報提供やともに考える場などの環境整備を進めます。また、関係各課・機関へつなげ、生涯にわたる支援を行います。

平成30年展望



街中下ランボリン広場



音楽会の日(吉岡彌生記念館)



文化共生フェスティバル

市民総ぐるみで
シティプロモーションを進めます

市民総ぐるみで地域資源を再発見し、磨き上げるなどの魅力づくりを進めるとともに、ブランドメッセージの浸透を図ります。これらのプロセスを通じて、市民の誇り・愛着を醸成し、戦略的な情報発信により掛川を売り込みます。

歴史まちづくりを推進します

「歴史的風致維持向上計画」に基づき、市内各地に残る歴史的風致(歴史的な建造物と祭りに代表される伝統的な活動が一体となった良好な市街地環境)を維持・向上させ、地域への誇りを再認識し、本市のブランド力向上とともに、観光施策に活用します。報徳運動、三熊野神社大祭、掛川祭、高天神城跡周辺の祭り、事任八幡宮例大祭、伝統的な茶草場農法などを核として歴史的風致に位置つけます。

スポーツによる交流拡大を図ります

ラグビーW杯やオリンピックピック、パラリンピックを契機としたスポーツによる交流拡大を図るため、官民協働で機運醸成やキャンペーン誘致に取り組むとともに、市内スポーツ施設を活用したスポーツイベントの推進を図ります。平成31年のラグビーW杯については、中学校区単位で、文化や言葉を勉強して応援する体制づくりに取り組みます。

掛川への新しいひとの動きをつくる

掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする

積極的な企業誘致活動を行います
 上西郷工業団地などへ県内外の企業
 に対し積極的な誘致活動を行います。
 また、市内企業訪問を計画的に実施
 し、企業ニーズの把握と企業の地元定
 着や設備投資につながる情報提供など
 を行います。

創業や中小企業を支援します

創業支援相談窓口や創業支援セミ
 ナーを開催し、新規創業者に対するき
 め細やかな相談や情報提供を行いま
 す。また、中小企業支援機関の連携体
 である掛川地域ラットフォームの体
 制強化を図るとともに「中小企業・小
 規模企業の振興に関する条例」を制定
 し、振興施策を検討します。シェアオ
 フィスについても研究していきます。

オリーブの産地化を図ります

新たな主要作物として、産地化やブ
 ランド化に向けて、実証農地の拡大と
 ともに栽培や加工、流通システムの構
 築について調査研究を進めます。

地方都市間の交流を進めます

互産互生機構と連携し、産品の販路
 拡大や交流人口の増加に向けて、人
 的・物産的交流をさらに促進してい
 きます。

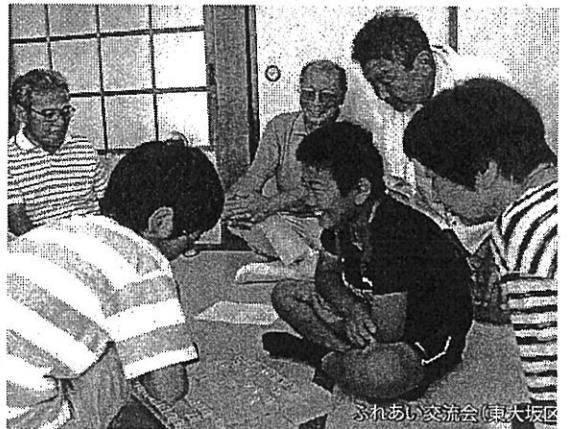
～掛川がもっと好きになる～



山の目 風船飛ばし(豊岳山頂)



母の日(横須賀幼)



ふれあい交流会(東大坂区)

海岸防災林強化事業を着実に推進します

海岸防災林強化事業「掛川潮騒の杜」を市
 民や企業との協働と、国や県との連携・協力
 をさらに進めながら一年でも早い完成を目指
 します。

高齢者の生活支援や認知症対策を進めます

認知症の早期発見と適切な治療、見守り
 ネットワークの構築などにより、認知症対策
 を推進します。また、高齢者の外出を増や
 し、人と触れ合う機会を創出するため、高齢
 者が一緒に集い食事ができるなどの居場所つ
 くりの拡大や移動手段の確保など、地域での
 生活援助を検討します。

「お達者度」県下一を目指します

人生100年時代を迎え、「かけがわ生涯
 お達者市民推進プロジェクト」を市民総ぐる
 みで推進します。ウォーキングや減塩、野菜
 摂取などを進め、地域の行事への参加など社
 会参加を促進し、生涯お達者市民が大勢い
 るまちに向けて取り組んでいきます。

掛川流協働によるまちづくりの
 深化を図ります

多様な主体が連携して地域課題に取り組
 むよう、地区まちづくり協議会、市民活動団
 体、企業をつなぎ合わせる機会をさらに拡大
 していきます。

明日の掛川をつくり豊かで潤いのある安心な暮らしを守る

大東大須賀区域認定こども園化の推進について

1 認定こども園化の概要

現在の幼稚園、保育園が整備された頃の昭和55年（1980年）と平成27年（2015年）を比べると、大東、大須賀区域のこどもの数は、ほぼ半減している。また、保育のニーズとしては幼稚園希望者が減る一方で、保育園希望者は増加してきており、定員を超えて入園している園もある状況である。

また、ほとんどの園が昭和50年代に建設されたものであり、平均で37年が経過し、建替えの時期となっている。こういった状況を踏まえ、掛川らしい質の高い乳幼児教育を提供し、地域の誇りとなる施設とすることで、「教育・文化日本一」「健康・子育て日本一」にふさわしい環境をめざすため、既存の公立幼稚園8園と私立保育園5園を、民営の認定こども園5園への再編整備を推進しています。

（仮称）大坂認定こども園の概要については下記のとおりですが、千浜、横須賀、大淵、城東の認定こども園に関しても、順次再編整備を行っていきます。

2 （仮称）大坂認定こども園の概要

- ・建設地：現大坂幼稚園・大坂保育園敷地及び旧大東給食センター跡地
- ・構造：鉄骨造平屋建て
- ・延床面積：2,985.91㎡
- ・予定定員：300人・・・1号認定 120人（幼稚園）
2・3号認定 180人（保育所）
- ・開園予定：平成31年4月1日
- ・運営法人：社会福祉法人 大東福社会

現在、園舎・園庭工事等の入札公告中で、1月22日には請負業者が決定する予定です。

大まかな工事スケジュールとしては、大坂幼稚園の卒園式終了後に、まず大坂幼稚園の取り壊しを行い、園舎・園庭の整備を行います。園舎・園庭が完成した後に大坂保育園を取り壊し、駐車場等の整備を行います。駐車場等、全ての工事の完成は平成31年7月を予定しています。

こども政策課
南部認定こども園化推進室 中山
電話 0537-21-1211

(仮称) 掛川市発達相談支援センター開設について

1 現状と課題

現在、発達の遅れや障がいを持つ子どもは、一学年に6.5～6.7%（通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査：2012年文科省調査）とされています。

当市においても、子育ての悩みや将来への不安を持つ家族などからの相談、周囲と上手にコミュニケーションを図ることができず、社会の中で生きづらさを感じての相談、就労に関する相談などが増加傾向にあります。

このような中で、子どもから大人まで、幅広い世代の健やかな心身の育成や、安心した生活を送ることができる環境づくりが求められています。

2 事業概要

(1)目的

発達に不安を抱える本人や家族からの相談を受けとめ、一人一人が孤独にならないよう、寄り添いながら、早期に必要な医療機関や発達に関する支援機関と連携し、安心して生活を送ることができるよう支援していくことを目的として設置し、その中心的な役割を担うものです。

(2)コンセプト

～寄り添い 共に学び つなぐ～

いつでも相談や情報共有ができ、様々な立場の人達とつながりをもてる居場所をつくります。

(3)開設日

平成30年4月（予定）

(4)開設場所

中部地域健康医療支援センター「中部ふくしあ棟」1階

※交流スペースとして、希望の丘内施設を検討中。

(5)利用時間

相談対応：9時00分から16時00分（以降は中部ふくしあが対応）

交 流：9時30分から12時00分（施設の予定により変更あり）

3 事業内容

(1) 相談対応

- ① 発達に悩みを抱える本人や家族の相談に対応します。
(年齢を問わず対応します。)
- ② 当事者および家族の気持ちに寄り添い、共に考えます。
- ③ 地域、学校、企業などからの相談、情報提供に対応します。

(2) 関係機関との支援体制の調整・連携

- ① 情報収集に努め、医療機関や関係機関と支援体制を構築します。
- ② 関係機関(団体)及び関係各課と協力し、円滑な運営をします。

(3) 広報啓発

- ① 広報誌やホームページ、園・学校等で啓発に努めます。
- ② 医療機関、地域、企業等へ積極的に周知します。

(4) 交流の場づくり

子育ての先輩など、地域の人材を活用し、発達の違いや遅れに悩みを持つ方が、安心して過ごせる環境を整備します。

4 職員体制(予定)

- 専任・・・専門職1名(非常勤)
- 兼任・・・中部ふくしあ 保健師2名、事務職1名
- 協力・・・子育てコンシェルジュ、子育ての先輩(登録制)

掛川市地域医療推進課
中部ふくしあ 担当：平川、成瀬
電話 0537-28-9713
地域医療推進係 担当：山崎
電話 0537-21-1324

「松ヶ岡プロジェクト」について

【松ヶ岡の概要】

「松ヶ岡」は、江戸時代後期の安政3年（1856年）に、当地の豪商・山崎家6代目が建てた主屋、長屋門、中門をはじめとする一群の建築物である。その多くが建築当時のまま残り、庭園とともに、近代的和風建築の代表として高い文化財的価値を誇っている。

江戸時代の山崎家は、掛川藩の財政を支援し、藩校（のちの「教養館」）の設立には、4代目当主・山崎万右衛門が多額の援助をしたと言われている。藩校は武士の子弟が学問や武芸を学ぶ場だが、この「教養館」では、農民・商人の子弟にも門戸が開かれ、「学ぶ」ことに前向きな風土が掛川に醸成された。我が国において「教養」という言葉が初めて使われたのが、この「教養館」であると言われている。

明治11年（1878年）には、明治天皇の行在所（仮の御所）に供され、8代目当主・千三郎は、初代掛川町長を務め、鉄道や道路の整備、大井川疎水の計画、製茶工場建設、掛川銀行の設立など地域振興のために私財を投じた。また、千三郎の甥の山崎覚次郎は、東京帝国大学経済学部長、日本金融学会初代理事会長などを務め、日銀の政策にも関与するなど、日本における金融論、貨幣論の先駆者として活躍した。

このように、千三郎は地方にあって、覚次郎は中央の学界において、我が国の近代化に大きく貢献した。

【プロジェクトの概要】

掛川市指定文化財「松ヶ岡（旧山崎家住宅）」を修復整備し、公共の財産として永く後世に伝えるとともに、現代版「教養館」として位置づけ、歴史・文化や金融・経済などの「学びの拠点」にしようとして計画している。

この計画のスタートとして、本年1月13日に生涯学習センターで、日本文学研究者のロバート・キャンベル氏を講師として、掛川教養フォーラムを開催する。

【修復・整備】

「松ヶ岡」は文化財調査を経て高い評価を得ているが、雨漏りや壁の崩落など早急な修復が必要である。また、拠点として活用できる施設としては未整備のため、現代版「教養館」とするには修復・整備が必要である。

修復・整備費用については、国等の補助金と寄附金を充てていくため、市民と協働で募金活動を実施している。今後、多くの市民の皆様のご協力をよろしくお願ひしたい。

社会教育課 鬼澤
電話 0537-21-1158

競争力あるオリーブ産地創り事業について

1 趣 旨

- (1) 掛川市の1次産業は、事業収入の低迷による担い手不足と就業者の高齢化により、就業人口が減少している。こうした状況の中、アグリビジネスに関連する地域産業の活性化及び雇用の創出を目指す。
- (2) オリーブに含まれる成分は、代謝機能を改善し、糖尿病防止に役立つほか、ダイエット効果もあり、健康・美容に与える効能を持ち、お茶とオリーブを併用した戦略を展開することで、一次産業に対する好感度を高め「健康・子育て日本一」の推進を図り、オリーブ産地化の定着を目的とする。

2 背 景

- (1) 全国的に、農業従事者の高齢化と後継者不足、農産物価格の低下、耕作放棄地の増加等の問題が深刻化している。
- (2) 耕作放棄地化の未然防止を図るために、地域農業の担い手の確保・育成や農地の流動化等が必要。

3 これまでの取り組み

掛川市では基幹作物であるお茶に加えてオリーブを産地化することで、生産物の幅を広げ、農家所得を増加させるとともに、しごとの創生や耕作放棄地の減少、抑制につながり、将来性のある魅力的な農業を構築するために、昨年度から国の地方創生推進交付金を活用し事業を推進している。オリーブは糖尿病予防やダイエット効果があり、健康・美容に与える効能を持っているほか、化粧品などにも利用できるため、6次産業化への可能性も含めて、今後の商品化について研究を行う。

- (1) 去年は、216本、0.5haの実証圃場を確保。
- (2) 生産者に対しては、専門家による栽培講習会を開催し、知識・技能の習得を支援するとともに、圃場の巡回指導も実施。
- (3) 圃場の土壌改良や茶の木の抜根等の造成費に対して補助金を交付し、オリーブへの作物転換を支援。

4 平成30年事業計画

- (1) 圃場拡大 1600本、4.0haの実証圃場を確保
- (2) 栽培指導及び加工・販売技術指導
 - ・植樹及び栽培技術指導（圃場管理、肥料・消毒、資材選定、獣害対策等）
- (3) 土壌改良、ほ場整備、作物転換支援
 - ・障害物の除去・抜根等の整地作業及び有機材の投入に対する補助
- (4) 搾油機の導入支援
 - ・搾油機導入に対する補助
- (5) 小笠山耕作放棄地対策
 - ・県と市によるワーキンググループで検討

農林課 農産係 杉山
電話 0537-21-1147

定例記者会見
平成30年1月10日
スポーツ振興課

中華民国（台湾）アーチェリー協会との東京オリンピック事前キャンプ覚書締結について

掛川市は、台湾アーチェリー協会と東京オリンピック競技大会における台湾アーチェリーオリンピック代表選手の事前キャンプ実施について、下記のとおり覚書締結式を行います。

記

- 1 日時 平成30年1月22日（月） 午後4時～
- 2 場所 市役所5階 全員協議会室
- 3 内容 東京2020オリンピックにおいて、台湾アーチェリー代表選手が掛川市で事前キャンプを実施することになったため覚書（基本合意書）締結を行います。
台湾アーチェリー協会は、平成27年、平成28年に台湾アーチェリーチーム（大学生・高校生）の強化合宿を「つま恋」で実施し、施設や練習環境等を高評価をいただいたことから今回の覚書締結に至ることとなりました。
台湾アーチェリー協会の副理事長と役員2名が、1月21日（日）～23日（火）の間で掛川市に滞在し、覚書締結式その他、つま恋や市内の施設視察を行う予定です。

4 その他競技の誘致状況

(1) ビーチバレーボール（大東ビーチスポーツ公園）

ドイツ

- ・事前キャンプ誘致活動用パンフレット等を欧州現地連絡員が配布・PR。
- ・平成30年8月欧州現地連絡員が大東ビーチスポーツ公園視察。
- ・現在、欧州現地連絡員がドイツ側と交渉中。

(2) トランポリン（さんりーな）

オーストラリア

- ・平成28年10月国際体操連盟総会で誘致活動実施。
- ・平成29年12月10日に豊田国際体操開催時にオーストラリア体操協会と誘致に向けた交渉。
- ・現在、施設の詳細や費用負担について提示するとともに、静岡県オセアニア連絡員と連携し交渉を継続。

5 ラグビーワールドカップ中学校区単位応援について

掛川市はエコパスタジアムで対戦する国・地域を中学校区単位で応援し、応援国の言葉や文化を学ぶことで国際理解の進展や多文化共生社会への理解を深めるとともに、応援旗の作成など様々な形でエコパ開催を盛り上げます。

担当者名	スポーツ振興課	中山善文・富口真臣
電話番号	21-1159	

定例記者会見
平成30年1月10日
危機管理課

運転免許証自主返納者アンケートの実施報告について

1 目的

近年、本来交通弱者である高齢者が加害者となる悲惨な交通事故が多発し、社会問題となっています。当市では本年度4月から高齢ドライバーによる交通事故を削減するため、高齢者交通安全対策支援事業として、運転免許証を自主返納した75歳以上の高齢者に「運転経歴証明書」の交付手数料全額補助金・公共交通利用助成券の交付を開始しました。

事業開始から半年が経過し、自主返納した高齢者の返納後の移動手段や生活等の状況を把握し、今後の高齢者対策の検討資料にするため、アンケート調査を実施しました。

(参考) 人身交通事故件数と高齢運転者の交通事故発生件数の推移

【静岡県】

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	前年比
人身交通事故件数	37,238	36,946	35,224	33,499	32,491	31,518	30,265	△1,253
高齢運転者事故件数	5,630	5,800	6,077	5,924	6,252	6,147	6,127	△ 20
割合	15.1%	15.7%	17.3%	17.7%	19.2%	19.5%	20.2%	0.7%

※H29は速報値

【掛川市】

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	前年比
人身交通事故件数	946	928	909	924	921	973	897	△ 76
高齢運転者事故件数	155	175	172	168	175	204	167	△ 37
割合	16.4%	18.9%	18.9%	18.2%	19.0%	21.0%	18.6%	△2.4%

※H29は速報値

2 アンケート対象者

- ・ 4月から9月までの6ヶ月間に、運転免許証を自主返納し「運転経歴証明書」の交付手数料の補助金、公共交通利用助成券の交付を申請した者。
- ・ 対象者155人（参考：4月から12月までの支援事業申請者数239人）

アンケート発送・回答・回答率

	全体			掛川地区			大東地区			大須賀地区		
	発送	回答	回答率	発送	回答	回答率	発送	回答	回答率	発送	回答	回答率
男	96	79	82.2%	74	62	83.7%	18	14	77.8%	4	3	75.0%
女	59	50	84.7%	44	37	84.0%	11	11	100%	4	2	50.0%
合計	155	129	83.2%	118	99	83.8%	29	25	86.2%	8	5	62.5%

3 アンケート結果の分析

(1) 問. 運転免許証を返納するきっかけは何ですか？

- ① 各地区とも「自ら決意して」が最も多く、83人（60%）
- ② 「子どもから言われて」49人（40%）
- ③ 「運転が不安になって」48人（40%）
- ④ その他として
 - ・脳梗塞等の病気になり免許証を返納した者 11人
- ⑤ 大須賀地区の免許証返納が低い。回答者全員が通院（特に中東遠総合医療センター）に苦勞していると回答

(2) 運転免許証を返納した後の生活について

問. 移動方法はどのようにしていますか？

- ① 各地区とも「家族等の送迎」の回答が最も多く、100人（80%）
 - ※ 子ども及び孫との同居の世帯が全体の60%
- ② 掛川地区は、バス・タクシーを利用する高齢者が多い。
また、掛川地区は中心市街地であることから、自転車・徒歩での移動手段が30%を占めている。
- ③ その他として
 - ・「シニアカーに乗るようになった」5人
 - ・少人数ではあるが移動手段が困難になり、家に閉じこもりの生活になったとの回答意見がある。

問. 良かったことはありますか？

- ① 各地区とも「他人に迷惑をかけるような事故の心配が無くなった」
「事故を起こす前に返納してほっとしている」の回答が多く、全体の60%
- ② 「家族がほっとしている」50%
- ③ 少人数ではあるが、補助金、公共交通利用助成券交付に感謝しているとの回答あり

問. 苦勞していることはありますか？

- ① 各地区とも「買い物」「通院」「自由に出掛けられない」が多く、全体の60%
- ② 大須賀地区においては、中東遠総合医療センターへの通院が遠距離のため交通手段で苦勞している。
- ③ 大東地区は、集中して大型商業施設があるが、交通機関の不便から買い物に苦勞している。

4 考察（まとめ）

- ① アンケート対象者155人で、その内、回答者は129人（83.2%）と高い回答率であった。
- ② 良い点として、「自動車事故を起こし加害者になる心配が無くなった」と回答する方が多かったが、「買い物」や「通院」に苦勞しているとの回答が多く、日常の“足”に苦慮している様子がうかがえた。

③ 今後の対応

- 1) 県が実施している運転免許自主返納者サポート事業の一つであるサポート店が実施している支援（市内で受けられる支援例：タクシー運賃の1割引、シニアカーなどの購入時の値引きや用品の贈呈など）の周知と協力店の募集支援。
- 2) 市のサポート事業である運転経歴証明書の交付手数料全額補助、公共交通利用助成券1万円分発行のPRと検証。
- 3) 掛川市地域公共交通網形成計画に基づく、市民・交通事業者・行政など様々な主体の協働による公共交通の充実。
 - ① 地域コミュニティの力による既存バス路線の維持・存続
 - ② まちづくり協議会や市民活動団体による生活支援車の運行
 - ③ 路線バスやデマンド型乗合タクシーなど、多様な交通手段の連携
- 4) このアンケート結果を参考に高齢者対策の健康長寿課、地域交通担当の生涯学習協働推進課などと連携して、運転免許証返納後に「買い物」や「通院」等の移動に対して不自由感を少なくする環境作りを進めて行く。

担当者名：危機管理課 市民安心係 佐藤、樽松
電話番号：0537-21-1131 FAX番号：0537-21-1168

担当者名：生涯学習協働推進課 地域交通係 松本、寺田
電話番号：0537-21-1129 FAX番号：0537-21-1165

定例記者会見
平成30年1月10日
スポーツ振興課

ラグビーワールドカップ機運醸成事業「スクラム先生プロジェクト」を開催します

下記のとおり、「スクラム先生プロジェクト」を開催します。

記

- 1 目的 ラグビーワールドカップ2019及び東京オリンピック・パラリンピックに向けたラグビー機運醸成策の一環として、ラグビーワールドカップ開催都市を中心にラグビー選手（トップリーガー）が地域の子供たちに対しラグビー特別体験授業を実施することで、ラグビーの裾野を広げる。
- 2 日時 1月17日（水）午前10時20分から午後12時45分まで
- 3 会場 掛川市立西郷小学校（体育館・教室）
- 4 対象 5年生 2クラス（50名）
- 5 講師 現役トップリーガー2名（ヤマハ発動機選手予定）
- 6 内容 ◎3時限目（実技 45分）10:20～11:05（体育館）
ボールリレー、タックル体験等のレクリエーションを通じて楕円球に親しむ。
◎4時限目（講義 45分）11:15～12:00（体育館）
ラグビーが、多様な特徴を持つ選手が協力して実施する競技であることから、子どもたちの性格をポジションにあてはめ「みんな違ってみんないい」という適材適所の考え方を学ぶ。
◎給食（45分）12:00～12:45（教室）
各クラス分かれて選手と給食を食べながら交流する。
- 7 主催 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会
- 8 共催 ラグビーワールドカップ2019静岡県開催推進委員会

掛川市スポーツ振興課W杯・オリパラ対策室
担当 中山善文・加々美詳
電話 0537-21-1159

定例記者会見
平成30年1月10日
観光交流課

ミニ四駆グランプリ2018NewYear掛川大会について

- 1 日時 平成30年1月21日（日）
開場8:00、開始9:00～終了16:30（予定）
- 2 場所 東遠カルチャーパークさんりーな
- 3 目的、内容
または主旨 ミニ四駆グランプリNewYear大会は、1月から2月にかけて全国6箇所（岡山、掛川、東京、愛媛、仙台）で開催される（株）タミヤの新年の幕開けとなる大会です。その大会のうちの1つが掛川市で開催されます。県外からの多数の参加を含め約2,000名の来場が予想され、この機会に掛川市の特産品等を広く紹介します。

※掛川市公式キャラクター 茶のみやきんじろうくんが参加する予定です。
- 4 主催 株式会社タミヤ、ミニ四駆掛川大会実行委員会
- 5 後援 掛川市
- 6 駐車場 報道関係者用駐車場は会場南側に用意しています。詳細は裏面をご確認ください。
※当日は大変な混雑が予想されます。裏面のような一方通行へのご協力をお願いいたします。

観光交流課 観光交流係
担当者名 平野真己・小嶋七海
電話 21-1121 内線 3675

会場周辺地図



1/21日 ★★ 2018. 掛川大会開催!

掛川版ミニ四駆
販売中だよ♪



© 掛川市

茶のみやきんじろう

ミニ四駆グランプリ2018NEW YEAR



7:00 OPEN
7:30 受付開始
8:50 オープニング

スケジュール (予定)

7:40 場外にて受付開始	13:30 コンクールデレガンス
8:00 開場 物販開始	14:00 お楽しみ抽選会
8:50 オープニング	14:30 二次予選
9:20 一次予選(AM)	15:30 決勝
12:30 一次予選(PM)	16:10 表彰式
	16:30 終了

会場 東遠カルチャーパーク「さんりーな」 (静岡県掛川市大池2250 TEL:0537-22-5553)

駐車場 さんりーな駐車場
※さんりーな駐車場が満車の場合は、掛川市役所駐車場をご利用ください。(裏面案内図参照)
当日は、さんりーなと掛川市役所駐車場を結ぶ無料シャトルバスを運行します。

申込方法 オープンクラス(高校生以上)への参加はイベント参加申込用アプリ「TAMIYA PASSPORT」からエントリーしてください。
※12月3日(日)締切予定。ジュニアクラス、ファミリークラス、チャンピオンズは大会当日の受付となります。



タミヤイベントの参加申込用アプリ

TAMIYA PASSPORT

Android&iOSのスマホをお持ちの方は、タミヤの公式スマホアプリ「TAMIYA PASSPORT」を使えば、大会情報の検索&事前申込が行えます。公認競技会の他にも、全国のミニ四駆ステーションの情報や製品ニュースなどお役立ち情報をチェックできますので、ぜひご活用ください。

出店者多数!

さんりーな前広場に集結!

同時開催!

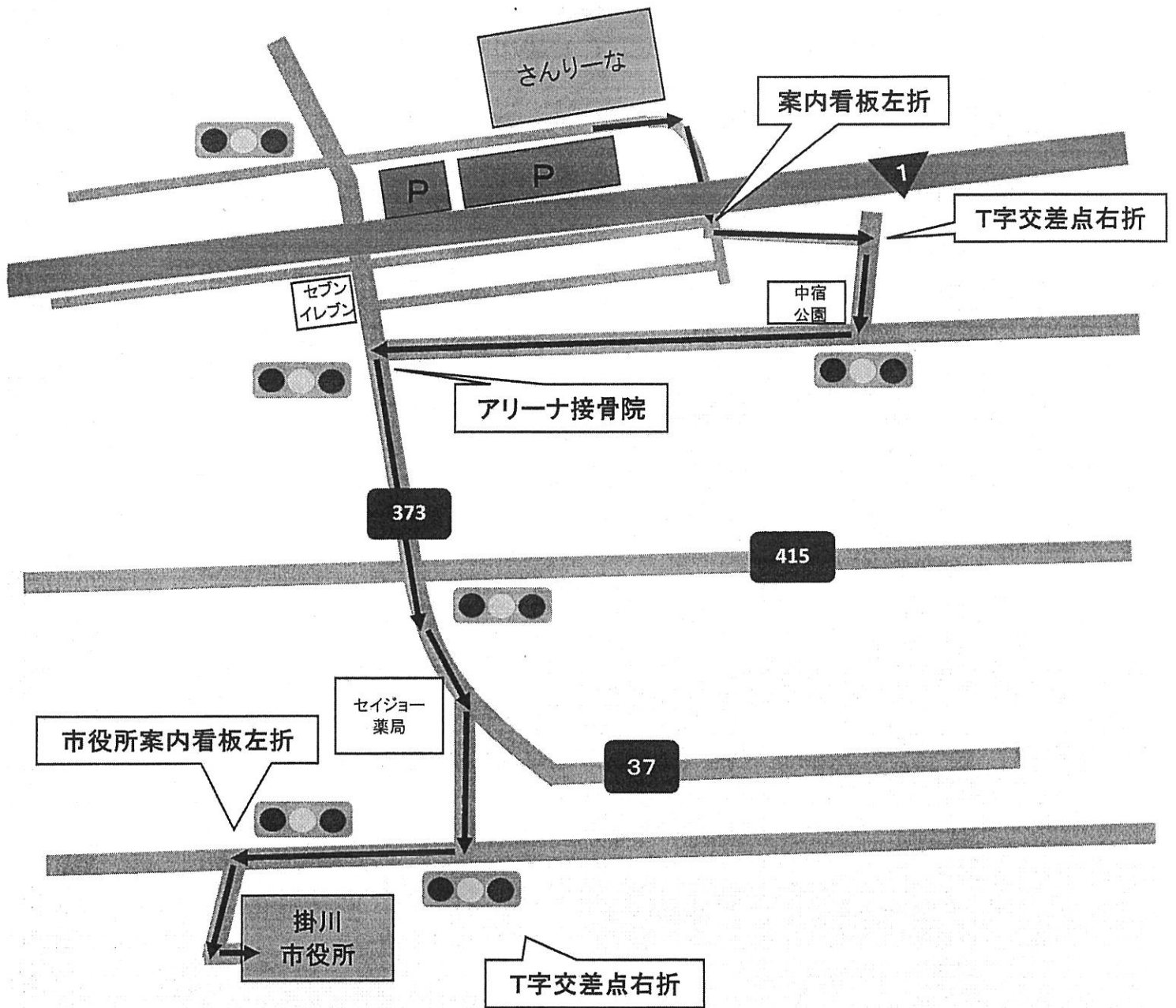
特設フードコーナー & PRブース

■出店内容 (予定)

お弁当、おむすび、焼きそば、から揚げ
ポテト、アイスクリーム、中華そば、干し芋
釜揚げしらす、地場産品・施設PR
etc...

案内図

さんりーなP満車になり次第、市役所へ →



各種問合せ

○ミニ四駆大会に関するお問い合わせ

株式会社 タミヤ グランプリ係
TEL : 054-283-0002
HP : http://www.tamiya.com/japan/event/m4gp2018newyear_kakegawa



○会場・シャトルバス等に関するお問い合わせ

ミニ四駆掛川大会実行委員会
(静岡県掛川市役所観光交流課内)
TEL : 0537-21-1121
HP : http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/kankou/sonota/mini4wd_kakegawa_2018_2.html



○掛川市内観光・宿泊に関するお問い合わせ

掛川観光協会
ビジターセンター「旅のスイッチ」
TEL : 0537-24-8711
FAX : 0537-24-8701
HP : <http://www.kakegawa-kankou.com/>



Facebook: 掛川観光ホットNEWS
<https://www.facebook.com/kakegawa.kankohotnews>



Instagram: kakegawa_tourism_official
https://www.instagram.com/kakegawa_tourism_official/



定例記者会見
平成30年1月10日
スポーツ振興課

第5回掛川市城下町駅伝競走大会を開催します

下記のとおり、第5回掛川市城下町駅伝競走大会を開催します。

記

- 日時 1月28日（日）午前9時から午後1時まで
午前9時 開会式
午前9時50分 小・中学生の部スタート
午前10時40分 小・中学生表彰式
午前11時05分 一般・高校生の部スタート
午後0時30分 閉会式
- 会場 掛川城三の丸広場（開会式・閉会式）※雨天時は第一小学校体育館
緑橋（逆川）上（スタート・ゴール）～市街地 ※全4区間
- 内容 「掛川市城下町駅伝競走大会」を、今年も掛川城下町を舞台に
開催します。 214チーム出場予定
- その他 当日は、大日本報徳社の駐車場を御利用ください。
別紙駐車券を駐車場係員に御提示願います。

掛川市城下町駅伝競走大会実行委員会事務局
（NPO法人掛川市体育協会内）
電話 0537-24-9781

掛川市スポーツ振興課
担当 富田徹・加々美詳
電話 0537-21-1159

第5回掛川市城下町駅伝競走大会

平成30年1月28日(日)開催 雨天決行

主催／掛川市城下町駅伝競走大会実行委員会（掛川市 掛川市教育委員会 NPO法人掛川市体育協会）

共催／静岡新聞社・静岡放送

協力／掛川市交通指導員会 掛川市地区まちづくり協議会連絡会 掛川市区長会連合会 掛川市陸上競技協会

協賛／掛川信用金庫 株式会社キャタラー かけがわ街づくり株式会社 中遠ガス株式会社

後援／静岡県 静岡県教育委員会（公財）静岡県体育協会



茶のみやきんじろう
©掛川市(1702030)

城下疾走! EKIDEN

ICタグ計測
全チーム記録証交付

・女性専用更衣室
・女性専用荷物置き場



シャトルバス運行
①市役所 ⇄ 会場
②し～すぽ ⇄ 会場
運行時間は掛川市体育協会ホームページをご覧ください。下記へお問合せ下さい。

■問合せ先
NPO法人掛川市体育協会
TEL.0537-24-9781
Email mail@kakegawa-taikyo.com
〒436-0043 掛川市大池2192
AM9:30 ~ PM5:30 / 火曜日定休

■会場：開会式・閉会式：掛川城三の丸広場（雨天時は第一小体育館）
■コース：掛川城下町周回コース

8:00~8:50	集合・受付
9:00~9:10	開会式
9:50	小中学生スタート
10:40	小中学生表彰式
11:05	一般・高校生スタート
12:30	閉会式（予定）



募集開始 平成29年11月2日(木)
募集締切 平成30年1月5日(金)

第5回掛川市城下町駅伝競走大会 大会要項

■申込方法

「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、下記事務局へ持参またはFAXすること。

参加料は銀行振込にて締切日までに納めること。(手数料は各自で負担)

【振込先】 掛川信用金庫 下俣支店 普通 1114265

特定非営利活動法人掛川市体育協会 会長 雑賀祥宣
(トクテイヒエイリカツドウホウジンカケガワシタイイクキョウカイ カイチョウ サイガヨシノリ)

- (1) 本大会に参加する選手は、大会要項、競技規則及び注意事項、及び申込規約に同意の上お申し込みください。
- (2) 小学・中学・高校生チームは選手とは別に成人代表者を1名、一般チームは選手の中から代表者を1名選任してください。
- (3) 一般の部には、高校生以下の方は出場できません。
- (4) 小学生の部には5年生以上の方が出場できます。(4年生を参加させる場合は事務局までご相談ください)小学生の参加に際して参加申込書裏面の保護者の同意書が必要です。
- (5) 参加チーム数は先着順で一般120チーム、高校生15チーム、小中学生80チーム。

■申込締切

平成30年1月5日(金) 必着(締切前でも定員になり次第、締め切ります。)

■競技方法

- ① 大会要項及び2017年度日本陸上競技連盟競技規則及び駅伝競走基準に準拠する。
- ② 大会参加申込締切後の選手の区間変更は認めない。選手変更は特別な理由があるものだけに限り認めるが、その場合は原則として補欠選手の中からのみ認める。
- ③ 傷害その他の事故については応急処置を除き一切の責任は負わない。
- ④ ナンバーカード(ゼッケン)・タスキ・計測チップ(第4走者のみ靴ひもに装着、返却不要)については、大会当日選手受付にて配布する。なお、タスキは大会終了後速やかに返却すること。
ナンバーカードに申し込み時のチーム名(8文字以内)を記載する。

一般・高校生の部

◆チーム編成	代表者(成人・兼選手可) 1名 選手 6名(正選手 4名・補欠選手 2名以内)												
◆種目・参加資格	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>参加資格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①一般男子の部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②一般女子の部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③一般男女混合の部</td> <td>男女混合で編成(第2区・第3区は女子)</td> </tr> <tr> <td>④高校生男子の部</td> <td>高校生のみで編成(学校単位)</td> </tr> <tr> <td>⑤高校生女子の部</td> <td>高校生のみで編成(学校単位)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※高校生は学校単位を基本とするが、クラブチーム等の参加も認める</p>	種目	参加資格	①一般男子の部		②一般女子の部		③一般男女混合の部	男女混合で編成(第2区・第3区は女子)	④高校生男子の部	高校生のみで編成(学校単位)	⑤高校生女子の部	高校生のみで編成(学校単位)
種目	参加資格												
①一般男子の部													
②一般女子の部													
③一般男女混合の部	男女混合で編成(第2区・第3区は女子)												
④高校生男子の部	高校生のみで編成(学校単位)												
⑤高校生女子の部	高校生のみで編成(学校単位)												
◆コース (全4区間)	<p>掛川城下町周回コース</p> <p>第1区 3.85km 緑橋→連雀西→馬喰橋(折返)→十王交差点手前(折返)→連雀西</p> <p>第2区 2.26km 連雀西→馬喰橋(折返)→連雀</p> <p>第3区 1.43km 連雀→十王交差点手前(折返)→連雀西</p> <p>第4区 3.84km 連雀西→馬喰橋(折返)→十王交差点手前(折返)→連雀西→緑橋</p> <p>※但し、③一般男女混合の部は第2区・第3区を女子とする。</p>												
◆参加料	1チーム 一般 3,500円 高校 2,000円(傷害保険料込み)												
◆表彰	(各種目) ■優勝/賞状、トロフィー、賞品 ■準優勝・第3位/賞状 ■申込者全員/参加賞 ※参加チームごとに記録証を1枚発行します												

小学・中学生の部

◆チーム編成	◎ チーム編成 代表者 1名 選手 6名(正選手 4名・補欠選手 2名以内)										
◆種目・参加資格	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>参加資格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①小学生男子の部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②小学生女子の部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③中学生男子の部</td> <td>中学生男子のみで編成(学校単位)</td> </tr> <tr> <td>④中学生女子の部</td> <td>中学生女子のみで編成(学校単位)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中学生は学校単位を基本とするが、クラブチーム等の参加も認める</p>	種目	参加資格	①小学生男子の部		②小学生女子の部		③中学生男子の部	中学生男子のみで編成(学校単位)	④中学生女子の部	中学生女子のみで編成(学校単位)
種目	参加資格										
①小学生男子の部											
②小学生女子の部											
③中学生男子の部	中学生男子のみで編成(学校単位)										
④中学生女子の部	中学生女子のみで編成(学校単位)										
◆コース (全4区間)	<p>掛川城下町周回コース</p> <p>第1区 1.80km 緑橋→連雀西→馬喰橋300m手前(折返)→連雀</p> <p>第2区 1.43km 連雀→十王交差点手前(折返)→連雀西</p> <p>第3区 1.63km 連雀西→馬喰橋300m手前(折返)→連雀</p> <p>第4区 1.58km 連雀→十王交差点手前(折返)→連雀西→緑橋</p>										
◆参加料	1チーム 1,000円(傷害保険料込み)										
◆表彰	(各種目) ■優勝/賞状、トロフィー ■準優勝・第3位/賞状 ■申込者全員/参加賞 ※参加チームごとに記録証を1枚発行します										

定例記者会見
平成30年1月10日
地域医療推進課

中東遠総合医療センター「睡眠から健康を考える市民講演会」の開催について

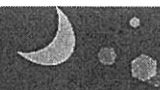
睡眠と健康をテーマに市民講演会が下記のとおり開催されます。

記

- 1 目的 掛川市・袋井市など中東遠地域の皆様に同センターを身近に感じていただくとともに、地域の皆様の健康増進等に寄与するため。
- 2 概要 睡眠医療に詳しい外部講師を招き、成人及び小児の睡眠時無呼吸症候群を中心に睡眠医療や健康についてわかりやすく解説します。
- 3 日時 平成30年2月3日（土）午後2時～4時
- 4 会場 中東遠総合医療センター 3階大会議室（掛川市菖蒲ヶ池1-1）
- 5 内容 演題①「成人の睡眠時無呼吸症候群」
講師 若井 正一 医師
(副院長 兼 神経内科診療部長 兼 睡眠医療センター長)

演題②「小児の睡眠時無呼吸症候群」
講師 中山 明峰 医師
(名古屋市立大学病院 睡眠医療センター長)
- 6 その他 どなたでも参加可、入場無料、事前申込不要、定員250名（先着順）
別添のチラシもご参照ください。

問合先：中東遠総合医療センター
経営戦略室 渡邊江里・野末徹
電話番号 28-8920(直通)



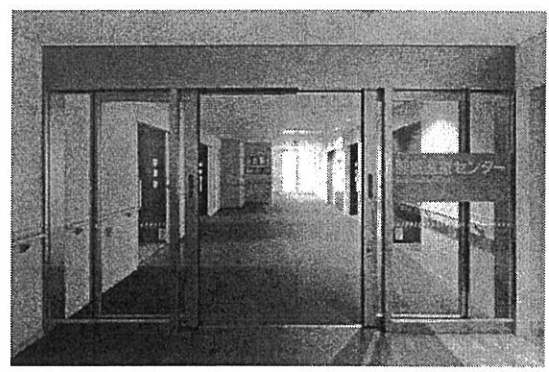
★ 睡眠から健康を考える市民講演会



日時 平成30年 2月3日 (土) 14:00 開会



場所 中東遠総合医療センター
3階大会議室



講演会

14:00 「成人の睡眠時無呼吸症候群」

副院長・神経内科診療部長・睡眠医療センター長

若井 正一 医師

15:00 「小児の睡眠時無呼吸症候群」

名古屋市立大学病院 睡眠医療センター長

中山 明峰 医師



問い合わせ先

経営戦略室 ☎0537-21-5555 (代)

★ 入場無料、申込不要

定例記者会見
平成30年1月10日
観光交流課

「第32回 遠州横須賀凧揚げまつり」

- 1 目的 掛川市内外の凧保存会、凧愛好家が一堂に会して凧を揚げることで、大須賀地区に伝わる伝統文化「横須賀凧」の保存・継承に寄与するとともに、「凧揚げ」への参加を通じて親子のふれあい、地域交流の場を提供することで地域活性化を図る。また、本事業を通じて各地に伝わる凧文化の保存にも寄与し、全国的な地域間交流を促進することを目的とする。
- 2 日時 平成30年2月4日（日）午前10時～午後3時
開会式 午前10時 （受付：午前9時～）雨天決行
- 3 会場 遠州夢咲農業協同組合ライスセンター及びロックタウン大須賀東側周辺
（掛川市西大淵地内、国道150号沿い）
- 4 主催 掛川観光協会大須賀支部、遠州横須賀凧巴会
- 5 後援 掛川市、掛川市教育委員会、大須賀町商工会、遠州夢咲農業協同組合三熊野ファーム、イオンタウン大須賀
- 6 協力 遠州横須賀倶楽部、遠州横須賀凧松尾会、有限会社サンサンファーム、中部電力株式会社掛川営業所、丸横運送株式会社、掛川茶振興協会、駿河の凧の会、静岡県立横須賀高等学校郷土芸能部（予定）
- 7 催物概要
 - ・横須賀凧の展示及び凧揚げ
 - ・県内外の凧保存会、愛好会による凧揚げ
 - ・ステージイベント（横須賀高等学校郷土芸能部）
 - ・地域特産品の展示販売・飲食、露店コーナー
 - ・遠州横須賀凧ピンバッチ販売（巴・とんがり・べっかこう）
 - ・凧づくり教室（先着100人）・凧の販売
- 8 参加団体 凧愛好家・同好会 約20団体（約200人）
物産出店者 約10団体

問合せ先	掛川観光協会大須賀支部
担当者名	観光交流課 平野真己・伊藤典生
電話番号	0537-21-1121
F A X	0537-21-1165